

羅 針 盤			方 策	点検・評価	達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評 価 対 象	評 価 項 目	具体的数値項目		自己 評価	外部 アンケート等		
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	多くの選択科目を設定している教育課程に満足している生徒が75%以上である。 習熟度別授業や少人数授業に満足している生徒が75%以上である。 自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、70%以上である。 学習活動に主体的に取り組み、課題解決のための能力が得られていると評価している生徒が80%以上である生徒の5年後、10年後を見据えた将来の人生設計について、話し合っている家庭が70%以上である。	○学校設定科目等を活用し、生徒が意欲的に取り組める教育課程を編成する。 ○生徒の実態に合わせたきめ細やかな指導を行い、生徒が「わかった」・「おもしろい」と思える授業を展開する。 ○友人関係や教師との信頼関係を作り、好ましい人間関係を育てる。 ○各学年の係や担当者を中心に、教科を越えた学習の基盤となる資質・能力が身に付くような指導を行う。 ○キャリア教育について、継続的な情報提供を行う。 ○ポートフォリオノートの活用を通して、キャリアプランニングにつながる「自己成長力」を要請する。				
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	学習に対する達成感・満足感をもっている生徒が70%以上である。 定期試験前や試験中の家庭学習時間が、1時間以上の生徒が60%以上である。	○授業アンケートを活用し、生徒の実態を踏まえ、到達度に応じた学習指導を行う。 ○試験時間割の発表に合わせ、対策問題や学習計画の立て方など、生徒が計画的に取り組む環境を作る。				
	3 適正な指導計画に基づいた授業展開がなされていますか。	授業の内容及びスピードが適切であると思っている生徒が70%以上である。	○授業アンケートを活用し、生徒の実態に合わせた授業を実施する。				
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	職員会議や学年会議において、生徒に関する情報交換を月に4回程度実施している。 学校全体で、適切な生活指導が行われていると感じている保護者・生徒は80%以上である。 校則をきちんと理解している生徒が90%以上である。 欠席、遅刻が前年度比10%減少している。	○週1回会議を設定するとともに、会議の議事録を回覧して職員全体で情報を共有する。 ○全校集会や通知等だけでなく、全職員で日常的に規則正しい生活の大切さを声掛けしていくとともに、学習に専念する授業中の生徒指導を行う。 ○あいさつと服装頭髪を整えることをはじめ、HRや学年・全校集会等で規律を守ることの大切さ、集団生活でのルールやマナーについて呼びかける。 ○週末に一週間の振り返りの時間を設け、自主的に生活習慣を見直し、規則正しい生活を目指そうとする意識づけを行う。				
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	学校生活での悩みを教員やスクールカウンセラー、友人に相談できると思っている生徒・保護者が80%以上である。 学校全体でいじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。	○教育相談体制の確立と、二者面談週間や教育相談週間の充実を通して、相談しやすい雰囲気づくりを心がける。				
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	健康診断の結果を話し合っている家庭が70%以上である。 清掃に積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。 毎日朝食をとる生徒が70%以上である。 安全な学習環境にあると感じている生徒が80%以上である。	○様々な教育活動の中で生徒にいじめ防止について訴え、校内巡視等を通して生徒観察を行うとともに、面談・アンケート等を通して早期発見・解消を図る。 ○三者面談で治療勧告書を配付し、家庭で話し合うきっかけをつくる。 ○個々の清掃活動や日々の行動について、日常生活の中で指導・助言する。 ○清掃用具を充実させ、大掃除においては重点項目を設定することで、清掃を積極的に行える体制を整える。 ○保健だより等を通して朝食をとることの重要性を伝えるとともに、保健委員会の活動を通して生徒からの呼びかけを行う。 ○安全点検を月末報告だけでなく、日々の活動時にも行い、危険所の早期発見に努める。また、危険箇所の修理等も早急に行う。				
	7 計画的な指導を行っていますか。	LHR等で実施している進路学習について、内容および回数が適切と感じている生徒が80%以上である。	○担任団との連携を密にし、LHRにおける進路学習の充実を図る。 ○学年別進路ガイダンスを適切な時期に実施する。				
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	○総合学科推進部と連携し、生徒の自己教育力を育成し、進路実現につなげる。 ○社会人になるための心構え・マナー・モラルの指導を行う。				
	9 家庭との連携を図り、生徒の進路実現に向けて協力して取り組んでいますか。	生徒の将来の志望についてよく話し合っている家庭が80%以上である。 就職に関する情報の提供に満足している生徒が80%以上である。 学校からの進路に関する配布物に目を通して保護者が80%以上である。	○就職や進学に関する情報を発信する。 ○夏季休業中の職場見学会を1人2社以上の実施を推進する。 ○ハローワークと連携し、就職ガイダンスを実施する。 ○進路相談の充実。 ○振り返り学習、学習支援による基礎学力の定着を図る。 ○実力診断テストの計画・実施・事後指導をする。 ○進路ガイダンスの実施、進学情報掲示する。 ○振り返り学習、学習支援による基礎学力の定着を図る。 ○進学課外学習を充実させ学力を伸ばす。 ○各学年団へ適切な情報および資料をきめ細かく提供する。 ○保護者への情報提供を積極的に行う。				
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	10 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	インスタグラムの更新を週1回以上行っている。 ホームページの更新を月2回以上行っている。 暁高校だより定期的に配付している。	○日常的教育活動の様子や部活動の活躍などを適宜更新し、広く情報を発信していく。 ○係から学校全体に呼びかけ、各学年や他の分掌、係と連携しながら情報を収集し充実させる。 ○学校の取り組みについて作成した暁高校だよりを回覧板に入れることで、地域の方に情報発信する。				
	11 学校公開を定期的に行っていますか。	学年別学校公開に参加する保護者が50%以上である。	○学年懇談会と併せて学校公開日を設定し、保護者に広く参加してもらえるよう日程を組む。				
	12 ICTを活用した指導を行っていますか。	ICTを活用した授業に60%の生徒が満足している。	○ICTを効果的に活用した授業を実施する。				
Ⅵ 教育デジタル化に努めていますか。	13 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	HRの連絡等でICTを活用しているクラスが60%以上である。 ICT活用について職員研修を実施する。	○生徒や保護者への連絡にクラスルームやメール配信などを活用し、業務改善を図る。 ○ICTの活用事例を紹介したり、実際に授業で効果的に活用している職員の事例を共有する場を設ける。				